

## 研修会報告

# 認知症の方の思いを汲み取るには？

～パーソン・センタード・ケアの考え方とその活用事例～

2023年9月22日（金）15時～ オンライン+会場で開催しました。多職種69名(オンライン60名、会場9名)の方々にご参加いただきました。導入では、参加者全員で目を閉じて、講師の鈴木氏のお声に導かれて、認知症の方の世界を疑似体験するところから始まりました。



会場参加者（姫路市医師会館）



浜松医科大学 老年看護学 教授 **鈴木 みずえ氏**に「パーソン・センタード・ケアの考え方とその活用事例」についてお話をいただきました。

**パーソン・センタード・ケア**とは → 認知症高齢者を一人の“人”として尊重し、その人の視点や立場に立って理解し、ケアを実践しようとする認知症ケアの理念

**私たちのケアで、認知症の人はよい状態にもなるし、よくない状態にもなる**

思いを「聞く」、情報を「集める」、ニーズを「見つける」、3つのステップで、認知症高齢者の心理的ニーズを満たし、人として生き生きと生活するためのケアにつなげましょう。

超高齢社会の我が国において、認知症とは人が最期まで人として生きるための課題でもあり、認知症の人から学ぶ姿勢が重要。

### 研修会后アンケート（一部抜粋）

- ・最初の疑似体験で認知症の方の感覚がわかりました。すぐに実践に使えるような内容でした。職場のスタッフにも伝えたいです。
- ・一人の人格を尊重し傾聴することが大切と思いました。今後の仕事に行かせたいと思います。
- ・静かな環境作りや対象者に落ち着きを与える雰囲気作りが必要という点は面談においても生かせると思いました。
- ・BPSDはその方のメッセージ（要望、本心、訴え）と捉える事が学べた。
- ・分かってはいたが、認知症の利用者様を主体としてケアプランができているのか改めて考えました。

